

【パネルディスカッションテーマ】

テーマ1：本市・本町のまちづくりにおける課題と官民連携の取組

テーマ2：官民連携を進めるにあたっての課題

【主な発言内容】

○（北上市長）高橋 敏彦 氏

北上市では、地域コミュニティごとの都市機能集中と相互連携を図る「あじさい都市」の実現に取り組んでいる。今後、地域拠点や都市拠点の形成にあたり、ハード・ソフト両面において官民連携によるまちづくりを進めていきたい。その際、官・民は、ともに共通の目標に向かって進む対等なパートナーであるという認識が重要である。また、市単独でなく周辺地域が一丸となることが必要だろう。

○（郡山市長）品川 萬里 氏

郡山市では、「復興力の維持・強化」実現に向けて、様々な分野で取組を行っている。官民連携の推進においては、市民、民間事業者、議会、行政といった、関係者全員の理解深化が重要と考えている。サウンディング調査等の手法により、サービス受給者である市民からも直接意見を聞き取っていきたい。民間事業者のイニシアティブにも配慮しつつ、スピーディーに取組を進めていきたい。

○（中山町長）佐藤 俊晴 氏

中山町では本年度、先導的官民連携支援事業として、公共施設の集約・再配置等を行うための官民連携事業による事業手法について調査・検討している。官民連携事業について、議会や住民への周知と相互理解に基づく合意形成に注力するとともに、単なる公共施設の整備に留まらず、地域振興や新たなまちづくりにつながる公共空間の創造を目指している。

○（むつ市長）宮下 宗一郎 氏

むつ市では、未利用市有地の有効活用を中心に「複数の拠点と交通ネットワークによるコンパクトシティ」に取り組んでいる。少子高齢化の進行に伴い地域経済規模が縮小する中で、官民連携事業を推進するために、事業予定を積極的に情報発信し、民間事業者との壁をなくすことが重要と考える。大都市とは異なる官民連携手法を確立させ、全国の地方都市に発信していきたい。



【官民連携（PPP/PFI）事業の推進に向けた首長意見交換会】



【（北上市長）高橋 敏彦 氏】



【（郡山市長）品川 万里 氏】



【（中山町長）佐藤 俊晴 氏】



【（むつ市長）宮下 宗一郎 氏】



【（東北大学大学院 経済学研究科 教授）
大滝 精一 氏】



【（（一社）不動産証券化協会 専務理事）
内藤 伸浩 氏】